

新 卷 月 刊

○口 給

●監獄門前の美人 (未版極彩色)
●離宮の囀 (亞鉛版)

富岡永洗
渡邊金秋

○新作小説

●めぐりあひ (全)

繁野天來

●斧の音 (全)

水谷不倒

●中年増 (全)

小栗風葉

●玉かつら (全)

島村抱月

○時 文

●新作家に對する吾人の希望 ●劇の進歩は何故に小説と伴はざるか
○作家苦心談

尾崎紅葉氏が「伽羅枕」三人妻「福舟」等
佐太夫と會合當時の談話併に作
の波「藝目傳」黒蜥蜴等の材料の出所及び
其運用等詳述せり

●「新刊紹介」二十數件あり
●本誌注文は東華堂宛投稿は丁酉吟社宛

三宅雄二郎氏序 内藤虎次郎氏著

近世文學史論

定價金 三拾五錢

郵税金 四錢

三百年間の文運、時代の昇降を總とし、關東關西兩中心の昇降を總とし、堅論横説、絲毫を割折し、文字簡勁、別に一家の面目を具ふ、蓋し我邦思想最大發達期の歴史として、一種眼光獨人のとどくならざる者、讀者一閱過乃ち了せんか。

文學士 劍峯 藤田徳八氏著

先秦文學

定價金 四十五錢

郵税金 六錢

東洋に於ける先秦漢種の文化は、西洋に於ける古代希臘の文化と對比す可く、燦然たる光彩、陸離として人目を射、流風餘韻今に至りてなほ絶へざるなり。本書は先秦文學史の第一卷として、先づ秦以前に於ける歴史諸子と文學の側面より討論し盡くして殆ど餘蘊なし、特に地理の影響、時代の感化、文士の性格に注意し、在來の漢學者の口吻と頗るその趣を異にする。著者果してこの光彩陸離たる時代の文學を討論するの學と筆とあるか、讀者の自ら之を知るに任す、弊學をたぬく之言を費さざる可し。

松蟲鈴蟲

定價金 二十錢

郵税金 二錢

三條合新 木時合新 天時合新 遊天時合新 天來の清光に輝きて街頭に輝けは益々變じて白雲となり天遊の大伽に於ては若くは玄風化して虹霓となりし街頭に彷彿する者は來つて清光に輝く若くは玄風を翹望する者は來つて大伽に誇れ。地守新開入願翁著

いはるは三體帖

絹裏紙白紙表打折本

定價金 三十五錢 郵税金 四錢

短冊習字帖

天來書二ツ折、短冊形、地色紙、金襴紙入、表紙支那繪子、大和紙、絹裏紙、白紙表、定價金 廿圓、郵税金 二錢、小包料百圓以外、外紙、以内八錢

假字は草書より出で、加ふるに國風の優麗を以てし、廻風雲を舞はせ落花草に依るの妙あるを尙ふ、書を學ぶ者の最も苦む所とす。新開地守翁、今世の草書を以て、又心を假字の書法に潜め、二王の神治に兼らるる三體の體逸を以てし、六朝より入りて上代様より出で、最妙たること游絲の若く天矯たること地閣の如し、一種の書格、世俗筆道家流の至る能はざる所なり。今時に初學者に圭臬を示さんか爲めに此帖を草せらる、弊學が切に附ふて之を梓行するは、今世俗書の陋態を一掃せんとするの微意に出づ、此帖一たび出でば、庶幾くは假字書格一變せんか。附記する所、此、な、ん、し、の解の如き、數百年假字書法の誤謬を正され、諸家未發の明解と稱せらる、此れ諸翁と雖も、亦以て翁が斯道に深達なる一端を知るに足るべし。

大學院國際公法專攻
 高等商業學校講師
 和佛法律學校講師
 東京專門學校講師
 日本法律學校講師

明治法律學校講師
 東京專門學校講師
 法學士中村進午氏著

國際公法

正價金二圓五拾錢
 郵稅金二十四錢
 入●菊版背皮クローリス金字
 無上●紙敷一千四百頁●
 各官省の外前金を要す

國際公法は目下高等文官試験、判事補士試験に最も重要な科目なるに拘はらず、之を理論し、之を詳解するもの、天下未だこれあるを明かざるは竊かに以て憾となす處、弊堂今幸先じて此の好著を世に紹介す、必ずして市井商賈の間に傳ふのみならず、都下五大法律學校及其他の學校講師にして學理の深造者、凡に大學院にありて斯法を専攻し、都下五大法律學校及其他の學校講師にして學理の深造者、奥妙なること、既に業に學者の公評あり、豈に偶然の故とせんや、本著の眞價必ずしも贅せず、一度必世に田では恐らくは先發諸君をして後へに懸若たらしむるものあらん。

且つ夫れ現時國勢の一變に伴ひ、皇國臣民の必讀を要す、こと本著の如き、並し最も急を急とするべきもの、弊堂の微意、幸に江湖に幸せらるゝことを得ば、期する處に背かざるを喜ぶものなり。

三浦數平軒

憲法、行政法、國際公法、國際私法、經濟學財政學 試驗問題集

定價金十八錢
 郵稅金二錢

附 文官試驗 規則

判事補士試驗

國際公法、國際私法、憲法、行政法等新年の試験科目として發表せらるゝや、入其眞著なきに苦しむ、弊堂是れに公法論を世に紹介して明か書肆たるの職を盡し今亦私法の判例將に終へんとす、唯夫れ受験者諸君にありては、教科の科目儘萬の文字一々記憶せんは誠に難しとす、弊堂乃ち本著を世に紹介せん、其公法私法は特に寺尾先生の校閱を求め、他は大學及高等文官試験及各指定法律學校の最近四年間の問題を蒐集し、併し試験規則を付して受験者諸君の參考に供せん、又以て附録の終をなすに足らば、本著の徒勞たらしむるものなり。

各宗管長肖像(寫眞版)入
 大内青樹居士序
 新時主筆加藤明堂著

佛敎界 四個格言

一部定價金三拾五錢
 廿部以上一圓五分引
 郵稅金四錢

目次
 第一篇 現今の四個格言問題 ●各宗協會の性質 ●各宗綱要の編纂 ●淨論の起因 ●調和策及其破綻 ●裁判の經過 ●本問題に對する評論
 第二篇 四個格言の評論 ●日蓮立教以前の佛敎 ●日蓮上人 ●念佛無間論 ●禪天魔論 ●眞言亡國論 ●律國賊論 ●四個格言の眞相 ●日蓮宗の本旨 ●過去に於ける四個格言問題
 第三編 四個格言問題の眞相 ●時勢の傾向と四個格言問題 ●宗教家の本務と四個格言問題 ●各宗合同と四個格言問題

法科大學教授 法律學士寺尾亨氏著

國際私法近刊

● 菊版背皮クロス金字入
● 紙質精麗最上美本 ● 紙數 凡八百頁

本書は國際法專攻の學者として有名なる寺尾先生が、多年研究の結果に成りたる大著にして、眞價の如きは敢て茲に贅するを要せず、夙に天下の定論なる所なり、今や條約改正の事業は着々其歩を進め、沙外事項の研究は一日も忽にすべからず、殊に司法官辯護士試験科目に於ても亦新に斯法の加はるを見る、現下稿を脱して既に刻刷に附せり、斯法篤志者諸君御必指を屈して暫らく此書の出るを待て。

黒頭 尊者著

淚珠唾珠

印刷中

此書は、盡く文章となる、此れ文士の手段が、池たる涙、粉たる唾、一々珠玉と爲る、此れ讀者が通力か、玉が石か、讀者豈に自ら知らんや、試み之の地に擲て、若し鑑爾として金塵せば、則ち購く者の耳之を爲す也。

湖南内應虎次郎氏著

諸葛武侯

印刷中

此れ被生上下二千年前、最も人氣ある人物なり、尚くも性命を亂世に全として、聞達を諸侯に求めり、三顧禮を由て、六尺孤を托せらる、力を興復に効し、斃れて而る後に已む。著者が何等の眼孔を以て若き人物と若き人物が處せし時勢とを觀察せるかは、請ふ之を諸葛武侯に看し。

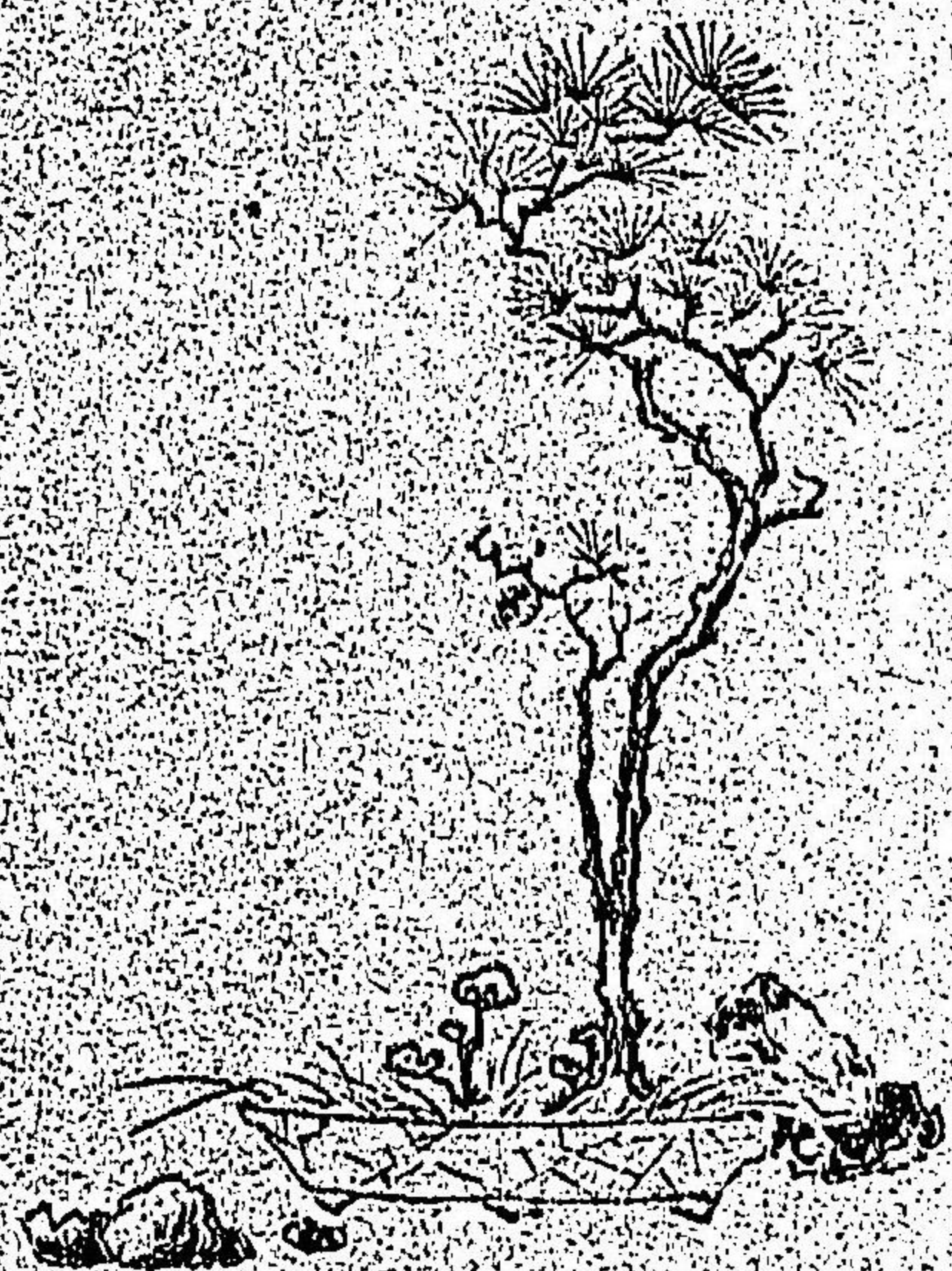
青山幾之助氏著

民事訴訟法實用全

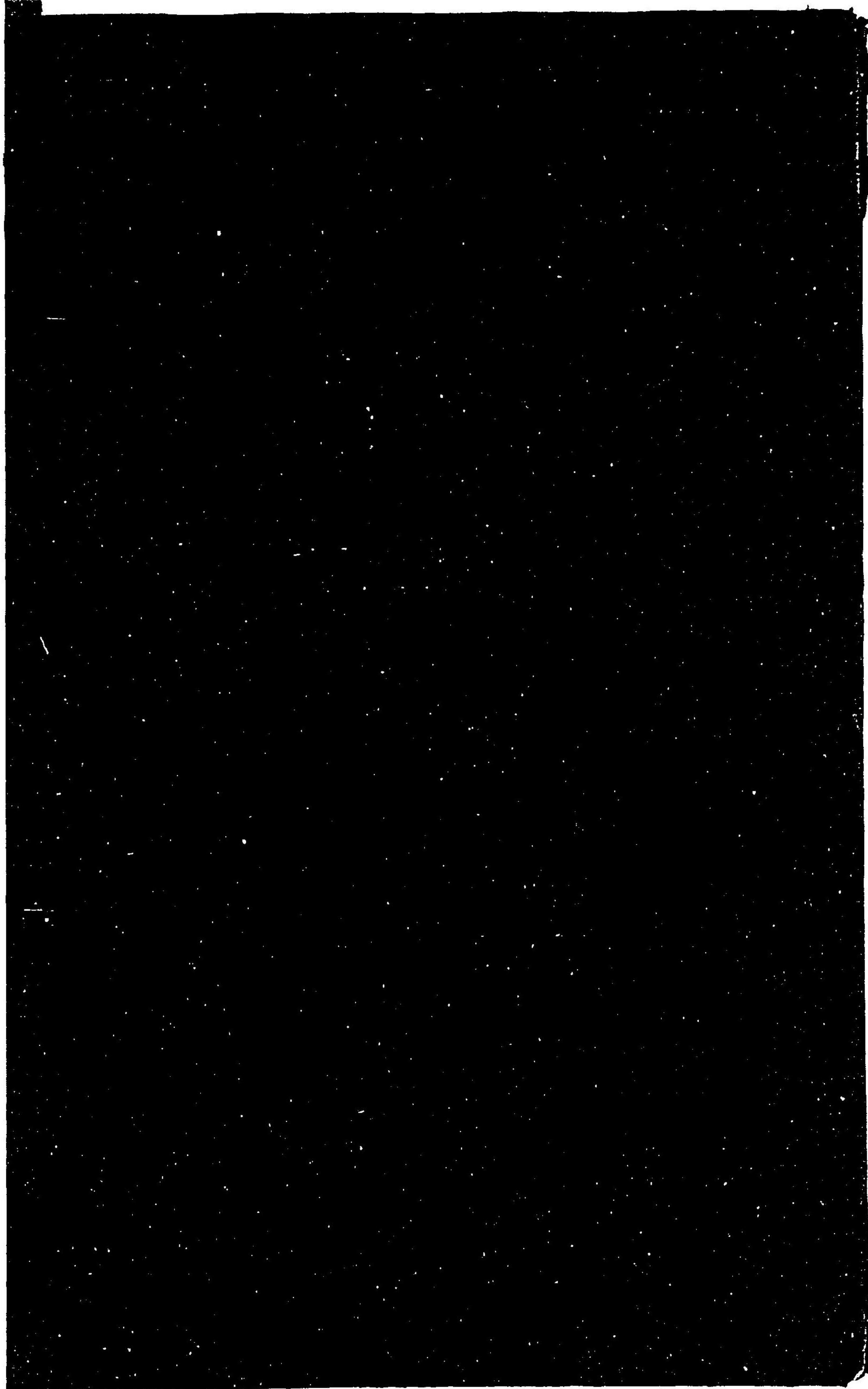
印刷中

著者が緻密細微に入るの體裁は、能く活潑なる條文の下に簡明なる結論を與へたる、殆ど解けざる疑難問は、或は法曹會社に、或は司法官訓令に、或は判決例に、一々實際に正確を求めて理論と強も抵觸をなさず、實に近來稱有の良著となす、日常事務に該る可き諸君子、并に判檢事辯護士諸君は勿論、受験者諸君研究の肥肥録として亦もちに大に裨益する處あるを疑はざるなり。





99
102



084732-000-9

79-102

支那小説戯曲小史

笹川 臨風/著

M30

DBA-0059



